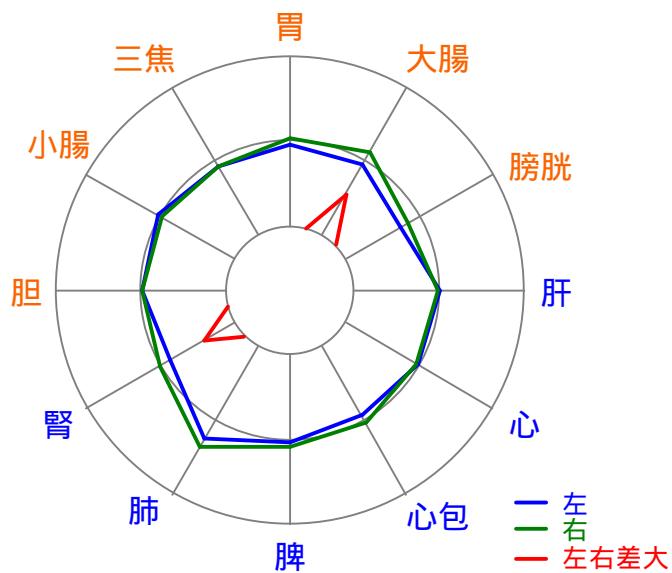
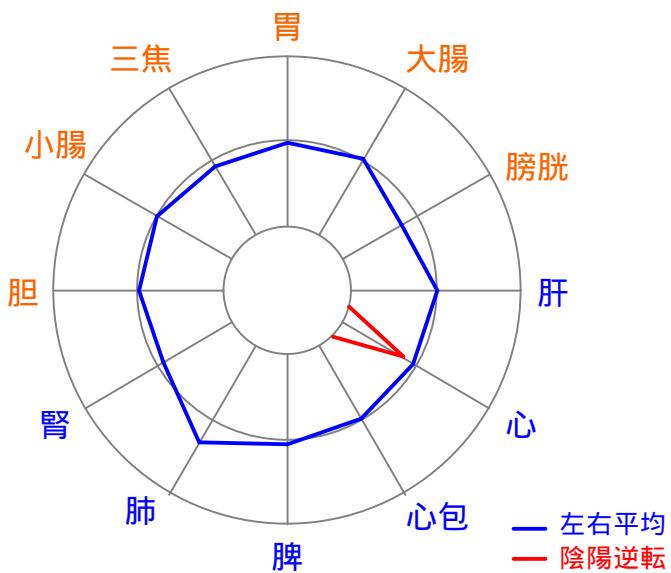


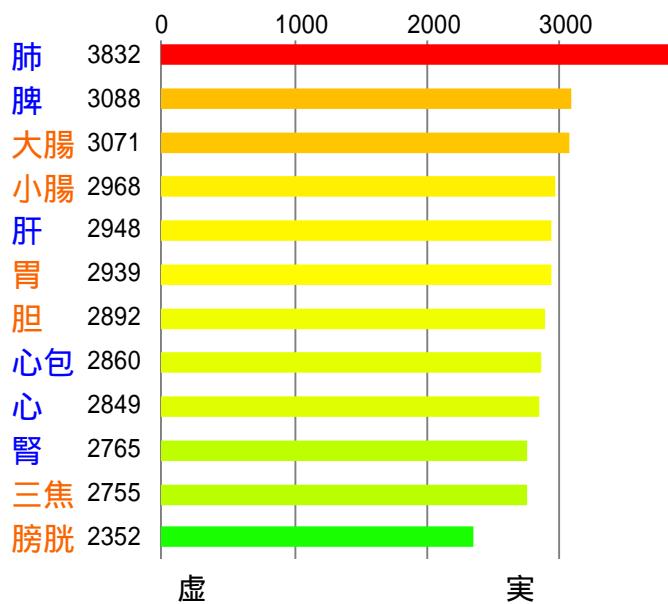
## --- BP 左・右・左右差 ---



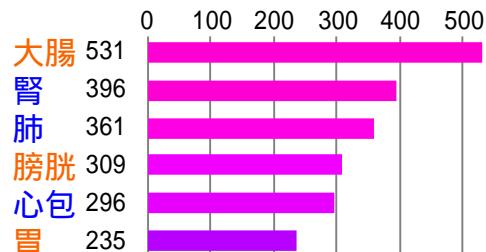
## --- BP 左右平均・陰陽逆転 ---



## --- BP 左右平均 ---



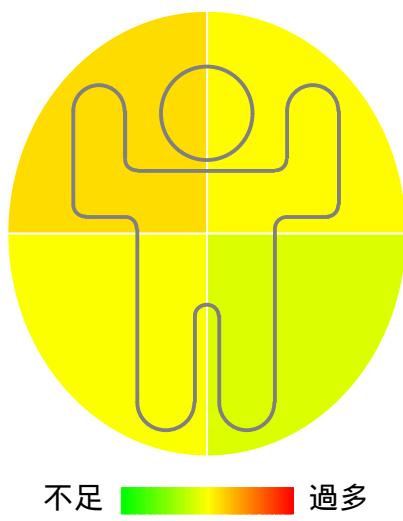
## --- 左右差 ---



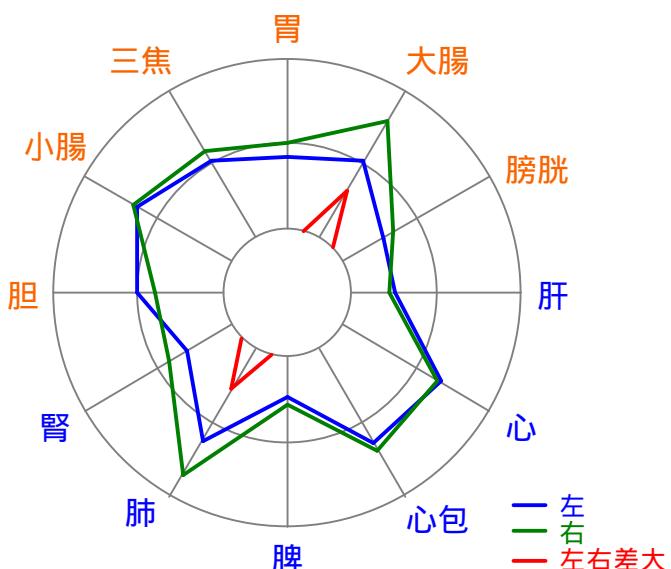
## --- 陰陽逆転 ---



## --- 気のバランス ---



## --- IQ 左・右・左右差 ---



## 【データ一覧】

		左	右	差	平均	左%	右%	平均%	差%
肺	BP	3651	4012	361	3832	1.240	1.363	1.302	1.706
	IQ	2913	3981	1068	3447	1.244	1.701	1.472	2.434
大腸	BP	2805	3336	531	3071	0.953	1.133	1.043	2.510
	IQ	2458	3719	1261	3089	1.050	1.589	1.319	2.874
心包	BP	2712	3008	296	2860	0.921	1.022	0.971	1.399
	IQ	3000	3226	226	3113	1.281	1.378	1.330	0.515
三焦	BP	2731	2779	48	2755	0.928	0.944	0.936	0.227
	IQ	2401	2765	364	2583	1.026	1.181	1.103	0.829
心	BP	2876	2822	54	2849	0.977	0.958	0.968	0.255
	IQ	3093	3019	74	3056	1.321	1.290	1.305	0.168
小腸	BP	3016	2919	97	2968	1.024	0.991	1.008	0.458
	IQ	2980	3128	148	3054	1.273	1.336	1.304	0.337
脾	BP	3004	3171	167	3088	1.020	1.077	1.049	0.789
	IQ	1079	1292	213	1186	0.461	0.552	0.506	0.485
肝	BP	2963	2932	31	2948	1.006	0.996	1.001	0.146
	IQ	1199	1044	155	1122	0.512	0.446	0.479	0.353
胃	BP	2821	3056	235	2939	0.958	1.038	0.998	1.111
	IQ	1992	2345	353	2169	0.851	1.002	0.926	0.804
胆	BP	2898	2885	13	2892	0.984	0.980	0.982	0.061
	IQ	2350	1870	480	2110	1.004	0.799	0.901	1.094
腎	BP	2567	2963	396	2765	0.872	1.006	0.939	1.872
	IQ	1439	2007	568	1723	0.614	0.857	0.736	1.294
膀胱	BP	2197	2506	309	2352	0.746	0.851	0.799	1.461
	IQ	1256	1610	354	1433	0.536	0.688	0.612	0.807

## 【BP陰陽差】

肺 - 大腸	761
心包 - 三焦	105
心 - 小腸	-119
脾 - 胃	149
肝 - 胆	56
腎 - 膀胱	413

## 【平均】

BP	2942
IQ	2340

## 【手/足】

BP	1.080
IQ	1.883

## 【診断】

BP高(実)
BP低(虚)
左右差大(不安定)
陰陽値逆転(変調)
興奮(変調初期)
沈静(慢性化)

## 【標準偏差】

BP	0.119
IQ	0.360

## 【左/右】

BP	0.941
IQ	0.872

## 【ポイント解説】

	BP	IQ
経絡別	虚実の指標	
左右差	該当経絡の変調。多くは一時的なもの。	
陰陽差逆転「」	該当経絡の変調。恒常的で多くの場合、発症を自覚している。	
平均	気(生命エネルギー)の充実度。 若年>老年・虚弱者。健常者>病人。	免疫・生体恒常性維持機能の活性度。 発症初期・炎症中・アレルギー体质者 > 慢性化・機能低下。
標準偏差	発病初期など免疫反応が活発なとき大きくなる。 測定操作が乱雑なときにもバラツキのため大きくなる。	同左。 BPの場合よりも長期間かけて変化する。
手 / 足	1が理想値。	1が理想値。
左 / 右	1が理想値。	1が理想値。

上記「診断」は「経絡・臓器機能測定について」(本山博著 宗教心理出版)の「各経絡 脍器の機能興奮、低下、不安定を決める基準」に準拠しています。「ポイント解説」は、同氏の多数の著書の中の説明文を引用したものです。語句変更したところもあります。